



議会 だより

千早赤阪

ちはやあかさか

特集：村づくり・予算常任委員会質疑
議会ってどんな場所なの？



一般質問

建石 和則 議員

- ・通勤、通学定期券補助の早期実現を
- ・子育て支援ヘルパー派遣事業について
- ・災害時の避難行動要支援者の対応について

畑 智恵美 議員

- ・自立した村としての将来像について
- ・小学校の統廃合問題への考え方は
- ・いきいきサロンやまゆりの建て替え検討の現状は

南本 斎 議員

- ・未来協議会に合併部会が設置されたが
- ・過疎計画について
- ・桐山農道整備事業とにぎわいづくり

尾崎 充宏 議員

- ・地区活動応援補助金の活用方法について
- ・村道の維持管理について
- ・地域公共交通利用補助事業について

中野 智子 議員

- ・今、タクシー券のアプリ化が必要か、伺う
- ・高齢化地域における安全な通行環境の整備
- ・子ども食堂の支援について、検討結果を問う

井上 浩一 議員

- ・スケートボード・ミニパークを
- ・地域猫活動へ助成を
- ・帯状疱疹ワクチン接種の助成

vol. 153
Aug 2025
6月定例会

5月臨時会 議決結果

○全会一致で承認・同意された案件

議 案 名	主 な 内 容
専決処分（千早赤阪村税条例の一部を改正する条例）の承認を求めることについて	公示送達をインターネットを利用して閲覧できる方法を追加等
専決処分（令和6年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第5号））の承認を求めることについて	基金繰入金の増
専決処分（令和7年度千早赤阪村一般会計補正予算（第2号））の承認を求めることについて	地域公共交通助成チケットデジタル化等経費の増
監査委員の選任について	建石和則議員を選任同意

6月定例会 議決結果

○全会一致で可決・同意された案件

議 案 名	主 な 内 容
千早赤阪村任期付村費負担教育職員の給与等の特例に関する条例制定について	詳細は特集ページを参照
令和7年度千早赤阪村一般会計補正予算（第3号）	職員の人事異動による増等
令和7年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	診療所の電子カルテの更新、医療機器購入による増
令和7年度千早赤阪村下水道事業会計補正予算（第1号）	下水道耐震化設計業務費の増
工事請負契約の変更締結について	金剛山ロープウェイ撤去工事費の増
動産の取得について	児童生徒用タブレット購入
千早赤阪村報酬及び費用弁償条例の改正について	投票管理者等の報酬改正
副村長の選任について	西井秀孝氏を選任同意
令和7年度千早赤阪村一般会計補正予算（第4号）	路線バス等通学定期券購入補助金事業に伴う増等
令和7年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	保険料還付金の増
米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書について	詳細は3ページを参照
地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書について	

議長コラム



村議会議長 田村 陽

に一所懸命取り組んでおられます。

▼議員各位からご推挙いただき、5月13日より議長職を拝命いたしました田村です。今回が初の議長コラムとなりますので、乱筆乱文ご容赦いただけましたら幸いです。

▼応援商品券

長らくデフレ状態が続いていた日本経済ですが、いまや物価上昇率が3・6%の伸び。これはG7で最も高い数値です（2025年4月）。その主因は食料価格の上昇です。食料品だけで言えば前年比6〜7%にも達しています。

物価高対策として千早赤阪村では再び応援商品券の配布を行っています（お手元に届いていますでしょうか？）。この機会にぜひ村内の事業者様でお買い物してください！

▼大阪府消防大会に千早赤阪村消防団が出席します！
本年9月7日に第69回大阪府消防大会が予定されており、小型ポンプ操法の部に千早赤阪村消防団の選拔メンバーが出席することになっていきます。昨年度は太子町消防団、一昨年度は藤井寺市消防団が優勝されており、南河内地区として三連覇を目指して、毎週2回（8月以降は3回）の訓練

意見書って何？

意見書とは、地方自治法第99条に基づき、村の公益に関することについて、議会の意思を決定して、国会や国、府などの関係行政庁に提出する文書のことをいいます。
本村の議会には、村民や各種団体から提出された意見書案を議員間で調整し、会議に上程し、採決します。

令和7年6月定例会で可決した意見書の概要を紹介します

○米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書
米国の関税措置に対し、特に日本の企業の9割以上を占める中小企業等を対象とした、具体的かつ手厚い施策を講じることを強く要望するもの。

○地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書

・地方公共団体の財政事情によることなく、地方消費者行政を安定的に推進するための恒久的な財源を措置すること。
・消費生活相談員の安定的な確保と処遇改善に係る制度設計に必要な予算措置を講じること。
・国が進める消費生活相談デジタル化に係る予算を国の責任で措置すること。

今月の表紙



イベント名：「七夕集会」
共催：千早小吹台小学校・小吹台地区福祉委員会
千早小吹台小学校校長 越口直史氏
「願いを書いた短冊や七夕飾りを、笹につけました。」

表紙写真大募集！！

議会だより「ちはやあかさか」の表紙を飾っていただけるお子様の写真を募集しています。

【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真（複数人でもかまいません）

【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話または村ホームページ（村議会）にてご連絡ください。

議会事務局 TEL 0721-26-7168

村づくり・予算常任委員会質疑

村づくり常任委員会質疑

○千早赤阪村任期付村費負担教育職員の給与等の特例に関する条例制定

★議案の主な内容

この条例案は、児童数の減少に伴い不足する教育職員を村単費で採用するため、府費負担教職員と同等の勤務条件となるよう、必要な事項を定めるものです。

問 村費で教育職員を任用することだが、任用期間は、

答 任用期間は3年で、2年延長できる。

問 採用基準は、

答 大阪府に講師登録されている方から選考する。

○工事請負契約の変更締結

問 金剛山ロープウェイ工事請負変更契約の経緯は、

答 工事発注後に有害物質の検査をしたところ、鉄塔及びロープウェイの機械設備、発着場機材から鉛、クロム、PCBの有害物質が検出され、処分方法を検討した結果、契約金額が増額になることから変更契約に至った。

問 実施設計の際に有害物質は見込んでいなかったのか。

答 アスベストの想定箇所は調査していた。古い建物であり有害物質が含まれている可能性は推測していた。工事発注後の検査において明らかになった。



金剛山ロープウェイの駅舎

○動産の取得について
問 児童生徒用タブレットの購入について、不具合に対しての補償は、

答 コンピュータ等、端末を調達する場合、初期不良については、無償で交換ということになる。今後、故障した場合に備えて予備機を調達している。

問 教育にどのように用いられるのか。

答 データ入力等の授業改善や海外につながってグローバル教育ができる。

○千早赤阪村報酬及び費用弁償条例の改正について

問 今回は選挙関係者の報酬改正だが、他委員の報酬の見直しは、

答 基準の法改正があれば、その都度改正を検討する。

予算常任委員会質疑

○千早赤阪村一般会計補正予算（第3号）

（都市計画マスタープラン策定業務）

問 策定業務とは、

答 都市計画法第18条の2に規定された、市町村の都市計画に関する基本的な方針を定める計画。

問 都市計画マスタープランを、なぜ新たに策定するのか。

答 平成28年に基本的な計画があったが、金剛バスの廃止等の社会状況の変化を踏まえ、修正を行うため。

（給食センター設備の故障件数増）

問 故障件数増の内容とは、

答 今年度当初にボイラー施設が故障し、80万円ほど修繕費がかかった。今後の見込みを踏まえ、増額補正する。

（全国瞬時警報システム新型受信機器の更新）

【問】更新事業とは。

【答】今回のJ-ALERT更新事業は、より地域単位で細分化して情報を配信できる機能を搭載した新型受信機に更新するもの。

【問】更新事業の財源は。

【答】緊急減災・防災事業債を活用する。

（小吹台第4ちびっこ広場石積補強工事）

【問】工事時期は。

【答】8月目途に考えている。

【問】他の広場の点検や整備は。

【答】随時点検等を行っている。

○千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

【問】医療機器を購入することだが、リースは検討しなかったのか。

【答】リース料と比較して、補助金を活用し機器更改することになった。

○令和7年度千早赤阪村下水道事業会計補正予算（第1号）

【問】耐震化詳細設計業務で1,000万円の計上ということだが、この業務の詳細は。

【答】能登半島地震で大規模な断水等を受け、国において上下水道一体で重要な管路の耐震化に向けた事業への補助制度が創設され、避難所等の重要施設につながる上下水道管路を対象に、今回耐震を図っていく設計業務。

【問】どこを対象とするのか。

【答】B&G、くすのきホール、いきいきサロンくすのき、千早小吹台小学校体育館、赤阪小学校体育館、村立保健センター、役場本庁の7か所をメインで考えている。



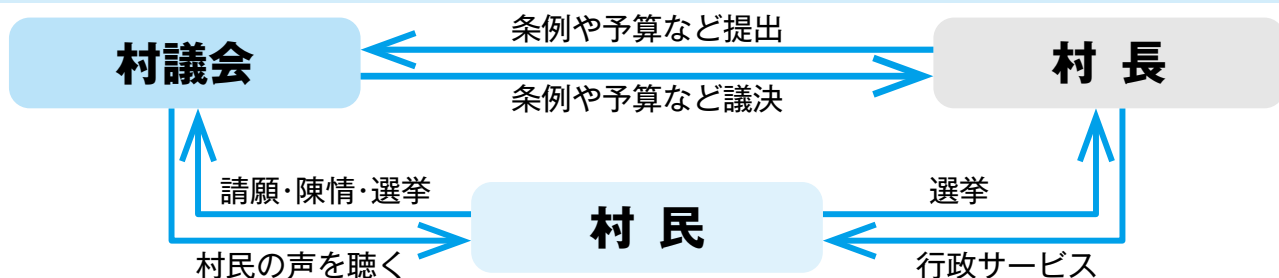
ちびっこ広場補強箇所（一部）



特集

議会ってどんな場所なの？

村議会は、村民の選挙によって選出された議員によって構成されています。村民の皆さんの意見を村政に反映するため、条例の制定や改廃、予算の決定、一定額以上の契約締結など重要な問題を審議して、賛否を決めています。このため、議会は「**議決機関**」と呼ばれています。一方で、村政運営を行う村長は「**執行機関**」と呼ばれています。**村長**と**村議員**は、いずれも村民を代表する対等な存在として、二代表制と言われています。





建石和則議員

問

通勤、通学定期券補助の早期実現を

答

創設などの検討を進めたい

問 地域公共交通の路線及び便数を今後も現状通り維持していくためには、利用者を増やす取り組みが必要と考える。通勤、通学における定期券補助に取り組むべきではないか。

答 地域公共交通施策に係る本村の財政負担は、年間約7千万円で、利用促進による財政負担の抑制が必要である。利用促進策は、4市町村地域公共交通活性化協議会において検討している。本村の支援策の一つとして、通学定期券補助制度の創



金剛ふるとバス

設などの検討を進めたい。
問 通勤定期券補助も実施できないか。また、実施に向けての工程はどう考えているのか。

子育て支援ヘルパー派遣事業について

答 通勤定期券補助については、財政状況等を勘案し創設する考えはない。通学定期券補助は、制度設計を進め、できる

問 5月号広報誌に掲載の子育て支援ヘルパー派遣事業は、一般的になじみがなく、現在の利用状況を伺う。

答 体調不良等で、養育上支援が必要で、他に援助してくれる人がいない家庭を対象としており、過去10年間で、13件の利用があった。

問 制度を知らない保護者もいるのではないか。誰しもが利用できる制度に変更できないか。

答 広報誌、ホームページ以外にも新たな周知方法を検討したい。誰しもが利用できる制度を考え調査・研究していく。

要望 様々な支援制度を検討してほしい。

答 十分に対策を検討して、災害時にだれ一人取り残されないように対策を進めてほしい。

災害時の避難行動要支援者の対応について

問 高齢化が進み、災害時の対応が課題である。本村の現状と対策はどの



畑 智恵美 議員

問

自立した村としての将来像について

答

選択肢の一つとして市町村合併について
調査研究を進める

問 第3回の2町1村未来協議会で、「規模の大きい合併の方が効果が大きいと認識」、「将来にわたり村民の暮らしを守り、地域を発展成長させる」と述べられている。この2つの発言の関係性を伺う。

答 市町村合併による行財政基盤強化の効果は、非常に大きくより大きな規模での市町村合併が有力な候補となり得ると認識。将来にわたり持続的かつ安定的に住民サービスを提供しながら、本地域の発展成長をめざす選択肢の一つとして市町村合併は有力な候補と考える。

問 南河内基礎自治機能

充実強化協議会と2町1村未来協議会の関係は。

答 南河内基礎自治機能充実強化協議会は、これまでの未来協議会での検討議論を踏まえて、大阪府からの働きかけに賛同した2市とともに新たに設置した。未来協議会は廃止せず、2町1村で取り組むべきものについては引き続き進める。

望望 大阪府の分析は、合併に関してコスト削減効果があるかが焦点となっている。行政運営側からの視点であり、住民の視点ではない。村として、府主導の行財政の効率化のみに流されることなく、村民の持つ力を活用しつつ、自立した村を目指して取り組んでいきたい。

望望 多くの地域の方々が、学校ボランティアとして活動されている。子どもたちにとっても、地域の方々にとても非常に良い関係性がつくられている。地域コミュニティの中心となっている2つの小学校の維持存続を強く要望する。

望望 いきいきサロンやまゆりの建替えについて、現在の状況は

望望 3月議会において、小学校の統合問題について

望望 いきいきサロンやまゆりの建替えについて

て協議の場の設置とあつたが、今後の村の小学校の在り方についてどのような考え方を持っているのか。

答 児童数の推移を考えると、小学校の統廃合に関わらず、この先も少人数となると予測できることから、中学校教育も含め、少人数であることのメリットを最大に活かす教育を進めていきたい。

望望 多くの地域の方々が、学校ボランティアとして活動されている。子どもたちにとっても、地域の方々にとても非常に良い関係性がつくられている。地域コミュニティの中心となっている2つの小学校の維持存続を強く要望する。

望望 いきいきサロンやまゆりの建替えについて

望望 3月議会において

望望 いきいきサロンやまゆりの建替えについて

望望 いきいきサロンやまゆりの建替えについて

望望 いきいきサロンやまゆりの建替えについて

て、現在どのような検討がなされているのか。また、現在施設を利用して山ゆり作業所の利用者、関係者に対する説明も含めて、どのように進めていく予定か伺う。

答 近年の人件費や建築資材の高騰により、想定よりも事業費が高額となる見込みで、村の財政状況を考慮し、事業実施の方向性や進め方について、庁内で横断的に検討していく。

望望 山ゆり作業所は、障害福祉サービス事業者であり、自主運営が基本となる。そのうえで、今後の施設の在り方や運営方法、見直しなどについて協議が必要と考える。

望望 いきいきサロンやまゆりの建替えについて

望望 いきいきサロンやまゆりの建替えについて

望望 いきいきサロンやまゆりの建替えについて

望望 いきいきサロンやまゆりの建替えについて

るべき姿を検討してほしい。また、山ゆり作業所は、40年前から、障がいを持つ方々の大切な居場所としての役割を果たしてきた。建て替えと決まった場合に、民間事業者として突き放すのではなく、利用者、関係者が納得できるような村としての最大限の支援策を検討していただきたい。

望望 その他、公共交通、物価高騰対策について質問

望望 いきいきサロンやまゆりの建替えについて

望望 いきいきサロンやまゆりの建替えについて

望望 いきいきサロンやまゆりの建替えについて

望望 いきいきサロンやまゆりの建替えについて

望望 いきいきサロンやまゆりの建替えについて



いきいきサロンやまゆり・山ゆり作業所



未来協議会に合併部会が設置されたが



市町村合併が有力な候補となり得る



南本 斎議員

令和7年近畿地方 村別人口一覧

	府県	村名	人口
1	奈良県	明日香村	5,018
2	大阪府	千早赤阪村	4,608
3	奈良県	山添村	3,014
4	奈良県	十津川村	2,709
5	京都府	南山城村	2,347
6	奈良県	東吉野村	1,463
7	奈良県	御杖村	1,329
8	奈良県	曾爾村	1,259
9	奈良県	川上村	1,189
10	奈良県	天川村	1,184
11	奈良県	下北山村	783
12	奈良県	黒滝村	585
13	奈良県	上北山村	419
14	和歌山県	北山村	383
15	奈良県	野迫川村	322

令和7年5月末人口（単位人）

問 合併の協議は、村民の皆さんが、幸せになるための合併であると認識しても良いのか。

答 住民の皆さんは人口や少子高齢化の実感度合いが高いことや合併を含めた議論を意識している。引き続きオープンな議論を進める。

問 千早赤阪村は合併を推進していくのか、反対するのか。

答 市町村合併も積極的な調査研究すべきと思う。

要望 千早赤阪村には、生活の利便性に大きく隔たりがある。合併により急に不便が増えた、住み続けることが困難になってしまったと、ならない事が重要で合併は村民ファーストで考えてほしい。

今年度設置された新しい協議会を含め進み具合などの情報提供を要望する。

問 現行計画と将来の村の財政状況見通しを問う。

答 持続的発展のため、各種施策を進めている。令和15年度に財政調整基金が枯渇し非常に厳しい財政収支見通しとなっている。

問 令和8年度から令和13年度分の計画の内容は。

答 過疎対策事業債を最大限有効活用して行く。

要望 過疎対策事業債の有効活用方法は適切なのか。近畿で村とつく基礎

過疎計画について

自治体は15自治体がある。

（左上一覧表 参照）

他の取り組みの調査研究も必要なのではないか。

金剛山・楠公さんなどの観光資源も最大限に活用し、現在の税収入を引き上げる施策と両輪で財政運営の健全化に取り組んでいただきたい。

村の将来に関わる重要な計画なのでしっかりと進められることを要望する。

桐山農道整備事業とにぎわいづくり

問 令和6年度議会では決の両予算の保留取りやめは、村の将来にプラスになるのか、取りやめるにふさわしい理由は。

答 限られた財源を最大限生かすため優先順位を定めて施策を推進して行く。保留の決定は、村長の指示のもと、村長を

トップとした庁内会議において決定した。

問 楠公誕生地周辺整備事業の地籍調査には、国補助もある。いつかしくはならない事業であるが、なぜ取りやめたのか。

答 整備にかかる基本計画がない中、課題を整理し事業の見直しをした。

要望 農道整備事業は、地区からの積年の要望で地区の皆さんの落胆の想いを考えたことはあるのか。担当職員にも長年汗をかいていただいた。近隣市町でも推進されている圃場（ほじょう）整備事業へ移行することも是非考えていただきたい。

楠公誕生地周辺を新たな村の拠点づくりで、村の活性化と村のブランド化を行い、税収入の増加につながるよう地籍調査を再度要望する。



尾崎充宏議員

問 地区活動応援補助金の活用について

答 山林火災用の消防ホースの購入は、補助の対象とする

問 最近全国各地で林野火災が発生し大きな被害が出ている。地区活動応援補助金を活用し地区所有の消防ホースなどの購入も補助対象にすべきではないか。

答 地区活動応援補助金についてはより活用しや



ポンプ操法の練習

答 山林用の消防ホースは、単に経年劣化ではないので、購入することは補助の対象となる。

要望 地区費での購入は負担が大きいので、買い替えも対象になるように

すいように本年4月に要綱改正を行った。補助金の趣旨としては消防ホースの経年劣化による買い替えなどの維持管理費用は対象外としている。

問 山林火災用の消防ホースを購入することは補助の対象にならないのか。



中津原地区の村道

問 本年度の主な道路維持管理工事について伺う。

答 本年度の主な維持工事としては、森屋地区、中津原地区及び小吹台地区において舗装工事などを予定している。

問 村のフルツロードの舗装の傷みや段差などの気になる部分もあると思うが、大丈夫か。

村道の維持管理について

答 フルツロードは東西をつなぐ大動脈であり、交通量も多く安全を確保する必要性については特に認識している。

要望 フルツロードなどの村道については、定期点検・補修をお願いする。国道、府道の場合でも大阪府への要望を行うよう願う。

地域公共交通利用補助事業について

問 タクシーチケット事業を実施されているが、

介護タクシーはタクシーの対称となっていない。介護タクシーも対象となるよう事業者を拡大、拡充する考えはないのか。

答 現在利用できる事業者は、近鉄タクシー株式会社、大阪第一交通株式会社、南海バス株式会社の3社である。介護タクシーや福祉タクシー事業者への拡充については検討している。

問 現在検討中というところだが、今後のスケジュールをお聞きしたい。

答 できるだけ早い時期として10月開始を目途に進めていきたいと考える。

要望 村には交通空白地域がある。タクシーチケットの拡充も重要だが、病院や買物に行くために別の手段もまたこれから検討するよう要望する。

今、タクシー券のアプリ化が必要か、伺う

住民の利便性の向上を目指す



中野智子議員

問 タクシーチケットの配布対象者が約1400名、実際の利用者約500名、利用率31%しか利用されていない。

スマートフォンをもっていない高齢者に対しては、これまで通り紙のタクシーチケットが発行される。

税金1100万円かけてアプリ化等をする必要があるのか。

答 タクシー券をデジタル化することで、住民利便性の向上、ペーパーレス化、行政に事務処理の負担軽減を図ることを目的に導入する。また、申請書自動作成システムを導入し、更なる住民の利便性の向上を目指す。

要望 適正な税の使い道であるか、疑問である。

全ての住民が対象となる住民サービス、施策へ税を投入すべきである。事業完了後、事業評価報告を住民へ行うことを要望する。

高齡化地域における安全な通行環境の整備

問 千早小吹台小学校付近で起こった死亡事故をきっかけに高齢化した地区の安全交通環境を見直す必要がある。路面の白線や停止線の塗り直しなど視覚による安全対策が必要ではないか。

〔答〕 ハード面とソフト面との取り組みが不可欠である。安全な環境づくりに向け、道路担当や自治会、警察等と連携を図りながら、対策を推進する必要がある。

路面の白線の引き直しは、舗装の打ち換え時に

実施している。

要望 認知機能が低下した高齢者にとつては、ソ
フト面の注意勧告より、
白線、グリーンベルトや
防犯灯など、視界に訴え
たハード面の対策が必要
である。村民の命を守る
ために白線の塗り直しを
要望する。

子ども食堂の支援について、検討結果を問う

問 以前、井上議員が一般質問で、子ども食堂についての支援をお願いした。村は「検討する。」と答弁された。

検討結果を伺う。

〔答〕 他の自治体の支援制度などの調査を行い、制度構築に向けて検討している状況。

他の自治体の事例を参考にしながら、広報誌への掲載を検討していく。

要望 今では小吹台地区
以外の利用も増え、交流



子ども食堂のお弁当を準備する様子

の場となっているが、まだまだ認知されていないので、村内に広める目的で広報誌による支援を要望する。

住みよい村づくりを行うには、他の市町村を参考にするだけでなく、まずは現状を見て、村に

沿った千早赤阪村独自の子ども食堂の取り組みが必要である。補助金を付けるばかりが支援ではない。

村民目線で、何を優先するのか見極めて、スピード感ある対策を要望する。



井上浩一 議員

問 スケートボード・ミニパークを

答 現時点では考えていない

問 オリンピックで話題になった「スケートボード」、南大阪エリアでも楽しめる施設が増えていく。子供たちの公教育の場、地域の賑わいづくりとして、より多くの方に利用してもらえるよう比較的小さな施設を取り入れてはどうか。



答 近隣で増えているのは認識している、多額の費用がみこまれるので現時点では考えていない。

問 助成金やスポンサーシップ等は得られないのか、また「道の駅」周辺の活性化事業等への活用は考えられないのか。

答 必要性等、勘案し慎重に対応する必要がある。

要望 機運醸成が整ったら検討を願う。

地域猫活動へ助成を

問 動物愛護管理法の目



保護され新しい家族のもとへ

的は「愛護」と適切な「管理」、危害迷惑の防止等だ。動物による迷惑問題は感情的対立が起きやすく、防止の観点から行政主導の対策・対応が必要だ。野良猫問題もその一つ、「さくら猫」活動や「保護猫」活動をされている個人・団体があるがボランティアが実情だ。村でも活動をされている方もおられる、近隣市町では活動支援制度があるが村の現状はどうか。

答 現在村では助成は行っていない。

問 今後、団体や個人から助成の希望があれば丁寧に対応し、寄り添い着地点にたどり着く決意はあるのか。

答 重要性はわかった。現在相談は無いが、要望があれば近隣自治体の事例等を調査する。

問 実情・意見を聞き、でき得る限り支援を願う。また、広報等に啓発記事の掲載は出来ないのか。

答 住民の声、近隣自治

体の取り組みを参考に調査研究する。

带状疱疹ワクチンの接種の助成

問 4月から定期接種が始まり、負担軽減が進んだがもう一歩踏み込んだ形にならないのか。

答 富田林医師会や管内自治体と事務の統一化をしている。独自助成を行う場合も調整に時間が必要、今後に向け協議を行う。

問 松原市は独自で50歳から助成を行っている、5歳刻みでも要望は多いと考える。村長の考えは。

答 公約にも掲げている、50歳以上を助成する方向で協議、調整する。

要望 後遺障害等が残ることもある疾患だ、早期の実現を願う。

ぎ か い の 窓

令和7年6月26日(木)、村内の施設見学に伺いました。この日は「小吹台連絡所」を視察、続いて「いきいきサロンやまゆり」を視察し、その後、千早小吹台小学校6年生の英語の授業を参観させていただきました。本年改選があり、新人議員が多いことから施設の老朽化や、日頃見ない授業風景を熱心に視察いたしました。翌日27日(金)は、議会最終日を終えて「千早診療所」、「給食センター」を視察、給食の試食もさせていただきました。給食センターでの試食は、毎回美味しく、日頃の努力に本当に頭が下がります。

また、職員の日頃の地道な活動も素晴らしいと思いました。

いずれの施設も老朽化が進んでおり、日頃から検討事項として取



授業の視察



給食の試食

り上げられています。今回初めて見られる方もあり、様々な意見や感想を持たれたことと思います。それぞれの案件については住民の意見を十分聞き取りながら進めるのは当然ですが、出来る事、出来ないことは「なぜそうなるのか」を住民の皆様にわかりやすく説明する義務はあるはずなので、常に新しい正確な情報をつかむのも議員の仕事。やはり現場に伺い、見て感じる事が不可欠だと感じました。

異常気象が続く、猛暑・局地的大雨・線状降水帯が危惧される中、災害に対する備えも重要です、今回視察したところも待ったなしの部分もあり、それぞれに緊急性を伴う事柄でもあります。何を優先しどの様な道筋で進めて行くのか、行政の腕の見せどころではないでしょうか。「だれ一人取り残さない」村をめざし、議員一同、全力で頑張ります！

井上

次回定例会の予定



9月4日(木)から9月19日(金)です。
 9月4日(木) 本会議 初日(議案上程) 午前10時
 9月5日(金) 本会議 2日目(一般質問) 午前10時
 9月9日(火) 村づくり常任委員会及び
 予算常任委員会 午前10時
 9月11日(木) 決算特別委員会 午前10時
 9月19日(金) 本会議 最終日 午前10時

上記日程は、状況により変更になる場合があります。

本議会及び各種委員会は、傍聴できます。(定員10人)

本会議の様子をYouTube配信していますので、ぜひご視聴ください。



議会事務局 TEL 0721-26-7168
 議場・議会事務局は、千早赤阪村役場庁舎3階

雑 感

備蓄米の放出によって幾分かおさまったようにみうけられる「令和の米騒動」。問題は米だけでなく、食料品や生活用品がじわじわと値上がりして、物価高を目の当たりに感じます。元は、ウクライナとロシアの戦争をきっかけに小麦粉などの食料品の物価上昇が始まり、ここへきてアメリカのトランプ関税など、物流にも大きな打撃を与えた結果といえます。私たちの生活は、単に生産量だけで販売価格(物価)が決まるわけではありません。

日本経済は、アメリカとの親密な関係の中、発展してきており、政治の在り方で、私たちの生活は良くも悪くもなります。

千早赤阪村の財政も、千早赤阪村の政治に大きく左右されることを、忘れてはなりません。村民の生活が少しでも良くなるためには、村民目線ですっきり精査し、判断し、対策を行なうことが必要です。村民にとっての必須な施策を自覚と責任をもって選ぶことが、村政には必須といえます。住民の皆さんが「気づきの声」をあげることが、村をよくする一歩になるのではないのでしょうか。

中野

広報編集委員会

委員長	畑 智恵美	副委員長	中野智子
委員	井上浩一	委員	南本 斎
委員	尾崎充宏	議長	田村 陽